



建築人

8

2017



大阪ホンマもん

二〇一六年秋、増田友也（一九一四〜八一年）の遺作として知られる鳴門市民会館を運まきながら初めて訪れる機会があった。増田は、この仕事に全精力を注ぎ込んだに違いない。重い病を患いながらも、建設現場に何度も足を運んだという。しかし、完成を見とどけることなく一九八一年八月にこの世を去ってしまう。そのため、教え子の前田忠直らの尽力で翌年四月に竣工する。

徳島県の東北端に位置する鳴門市は、渦潮で有名な鳴門海峡を隔てて淡路島と対峙し、一九九八年には神戸からの自動車道が開通して本州とつながった四国の東玄関である。その東側、紀伊水道を臨む海岸線から約1km内陸を静かに流れる撫養川に面した塩田の跡地にこの建物は建っている。同じ増田の設計によって先に建設された勤労青少年ホーム（一九七五年）、老人福祉センター（一九七七年）と中庭を挟んで向き合う形で配置され、鳴門市の福祉と文化を担う中核施設として、一九七一年に始まる全体計画の最後を締めくくる建築だった。

訪れると、厳しい予算からか、隅々までコンクリート打放しで構成された彫刻のような建物が圧倒的な存在感で迫ってくる。撫養川の水面に映る日差し除けルーバーの厳格なリズムとホール外壁の量塊との整然とした対比も美しい。内部は、一六〇〇人収容のホールを中心に、広々としたホワイエとロビー、楽屋やリハーサル室、展示室や会議室などから簡潔に構成されている。

それにしても増田はこの建物に何を求めたのだろうか。というのも、例えば、同時代の名護市庁舎（象設計集団一九八一年）やつくばセンタービル（磯崎新一九八三年）と比べただけでも、ポスト・モダンの潮流が隆盛を誇った当時の時代状況とはまったく

異質の建築であることが理解できるからだ。残念ながら、増田はこの建物に触れた文章を書き残してはいない。また、だからこそ、この建物からは誰もが無言の問いかけの印象を感じ取るのではないだろうか。建築界を牽引した同世代の丹下健三の明快な建築思想と比べると、増田にはその経歴も含めてどこか謎めいた部分が見え隠れする。日中戦争下の一九三九年に京都帝国大学を卒業した増田は、満洲炭鉱工業会社へ就職して大陸へと渡り、関東軍のコン

記憶の建築

松隈 洋

鳴門市民会館 1982年

遺作が問いかける空間創造の意味



撫養川からの建物全景。右隣に勤労青少年ホーム。



ホワイエ。下すばみの十字形の柱が厳格な秩序を刻んでいる。

ら自らの建築作品として発表することを望んではいなかったのか、建築の根源を問い、ハイデガーや道元にも言及する独自の建築論を追求する孤高の建築家、教育者に徹し続けた生涯のようにも思える。増田はなぜ、そのような道を選び取ったのだろうか。二〇一四年に生誕一〇〇年の展覧会が催された際、学生たちと模型制作などを通じて企画に加わった。それが機縁で、ご遺族の下で大切に保管されてきた増田の個人資料を調査する機会があった。その成果は京

クリート造船計画に携わった後、一九四五年の敗戦を現地で迎える。一九四九年に日本へ帰国し、母校の講師に着任したのは一九五〇年であり、三六歳になっていた。恩師の森田慶一の下で建築論の研究に着手し、一九五五年に博士論文「建築的空間の原始的構造」をまとめる。続く一九五七年からは、研究室の学生たちと精力的な設計活動をスタートさせ、この建物に至るまでの二十四年間に、計画案二十三件を含む八十四件の建物の設計を続けた。だが、ことさ

ら自らの建築作品として発表することを望んではいなかったのか、建築の根源を問い、ハイデガーや道元にも言及する独自の建築論を追求する孤高の建築家、教育者に徹し続けた生涯のようにも思える。増田はなぜ、そのような道を選び取ったのだろうか。二〇一四年に生誕一〇〇年の展覧会が催された際、学生たちと模型制作などを通じて企画に加わった。それが機縁で、ご遺族の下で大切に保管されてきた増田の個人資料を調査する機会があった。その成果は京

ような存在なのだ」

森田先生とは森田慶一、谷市長とは鳴門市長を長年務めた谷光次のことである。苛酷な戦時下を生きた増田は、図らずも建築を教える立場を森田から与えられ、継続的な鳴門市の仕事や谷から依頼されたのだ。こうして、無欲にも学生たちに建築の本質を教えたいとの思いから建築論を志し、設計の実践を通して建築に向き合う姿を示し続けたのではないだろうか。そして、病魔と闘っていた一九八〇年の手帳には、鳴門で記された次のようなメモも見つかった。

「もっとも古いもの—本当に古いもののみが生き残り生きつづけるのだ—そうでないものは悉く新らしいと言われるものに追い越されてしまうのだ」（五月七日）

「道具の道具性を超えて行くということもまた道具性のまった中で、日常性のまった中で進行する—道具の制作は道具自身の内部で進行し、道具を離れることはありえない。しかしまた制作中のそのものは直接的に道具としてあるのではない。それは追経験もしくは前経験として経験されているのである。

構造の新鮮さが造型の純粋さに響き通うように」（五月二十一日）

歴史の試練に耐える力と道具性を超える存在感を求めて、構造の新鮮さを造型の純粋さと響き通わすこと。増田の遺作は、そう語りかけながら現代を生き続けている。

松隈 洋

京都工芸繊維大学教授、博士（工学）。一九五七年兵庫県生まれ。一九八〇年京都大学卒業後、前川國男建築設計事務所に入所。二〇〇八年十月より現職。

む場としても魅力的な街の一つとして注目されています。地元の方の案内でまち歩きをしながら、数ヶ所残る近代建築と移転して10年になる朝日放送の社屋の見学会を企画しました。併せて防災についても検証してみる予定です。

日時 9月30日(土) 13:00~17:00(予定)
集合 JR環状線「福島」駅改札口 13:00
見学予定コース

JR環状線福島駅~大阪福島教会(ヴォーリス)~ほたるまち朝日放送(隈研吾・NTTファシリティーズ)~メリヤス会館(宗兵衛)~ミナミ株式会社(矢部又吉・登録有形文化財)~JR環状線福島駅

募集 30名(申込先着順)
参加費 会員1,000円 会員外2,000円
※終了後に懇親会を予定(別途4,000円程度)

事務局からのお知らせ

夏季休暇のお知らせ
8月14日(月)~15日(火)は休ませていただきます。

本会の催し参加問合せ・申込先

大阪府建築士会事務局
〒540-0012 大阪市中央区谷町3-1-17
高田屋大手前ビル5階
地下鉄「谷町4丁目駅」1-B出口すぐ
TEL.06-6947-1961 FAX.06-6943-7103
メール info@aba-osakafu.or.jp
HP <http://www.aba-osakafu.or.jp/>

ム科など就職につながる専門的な研修を受け、職場実習を積んだ上で再就職をめざします。

参加費 無料
問合せ フェニックス拡充訓練事務局
Tel.06-4708-4513
HP [\[フェニックス\]](#) [\[検索\]](#)

「おおさか優良緑化賞」募集 募集中~8/31

大阪府では、潤いと安らぎのあるみどり豊かなまちづくりをめざして、都市環境の改善や都市の魅力向上に資する特に優れた緑化の取組みに対して、「おおさか優良緑化賞」を授与しています。平成29年度の募集を以下のとおり行います。応募方法及び募集期間

平成29年8月31日(木)までに、申請書類一式を府内市町村の緑化担当課窓口まで提出してください。

応募対象 次のすべての条件に該当する施設

- 平成24年4月1日から平成29年3月31日の間に緑化が完了した施設
- 1,000平方メートル以上の敷地における建築物の新築、改築、増築を行い、緑化計画書等の届出を行った施設等

詳細は大阪府ホームページをご覧ください。
おおさか優良緑化賞 <http://www.pref.osaka.lg.jp/midori/midori/h29yuryouryokkabosyu.html>

問合せ 大阪府環境農林水産部みどり推進室 都市緑化グループ
Tel.06-6210-9558

工事監理者の方々にも受講いただいています。

日程 8/24・8/31・9/7・9/14・9/21・9/28・10/5・10/12・10/19・10/26
時間 13:00~17:25(各回共)
会場 花博記念公園ハウジングガーデンセンターハウス2階
大阪市鶴見区焼野1-南2
定員 各回45名
受講料 1,000円(テキスト代金)
※建築士会の受講料補助はありません。
申込 専用のWEBからお申込みください。
HP [\[省エネ講習会\]](#) [\[検索\]](#)
詳細は今月号同封のチラシをご覧ください。

「奈良県農業研究開発センター」 「なら食と農の魅力創造国際大学 校(池之内校舎)」完成見学会 8/25

奈良県産材を活用した「奈良県農業研究開発センター」「なら食と農の魅力創造国際大学校」の完成見学会を開催します。

主催 SMB建材株式会社
共催 奈良県木材協同組合連合会、(一社)大阪府木材連合会

日時 8月25日(金) A)10:30~12:00
B)13:00~14:30
C)15:30~17:00

定員 各回100名(定員なり次第締切)
締切 8月18日(金)
問合せ SMB建材株式会社 構造建築部
Tel.03-5573-5300

平成29年度木造建築技術基本研修会 さしがね術の基本講座 8/27・9/24・10/29・11/26

木造建築在来工法の基礎となる「さしがね術の基本」を4日間で開催いたします。

主催 (一財)大阪住宅センター
日時 8/27・9/24・10/29・11/26
会場 花博記念公園ハウジングガーデンセンターハウス2F
大阪市鶴見区焼野1-南2
定員 30名 受講料 7,000円(全4回)
問合せ (一財)大阪住宅センター
Tel.06-6253-0252

インテリア業務の国際化とデザイン における課題 9/8 CPD2単位(予定)

海外での豊富な実務経験を持つ講師から、主に商業施設の作品創りを通じて、日本と海外でのクライアントからの要望や取り組み方法の違いなど、インテリアにおける近未来に向けての課題について、ともに考える機会とします。

日時 9月8日(金)
会場 TOTOテクニカルセンター大阪
大阪市中央区久太郎町3-6-8 御堂筋ダイワビル
インテリアデザインの国際的展望
講師 沖野俊則(株式会社インテリアデザイン部長)
定員 80名 参加費 本会会員1,500円
締切 9月6日(水)
問合せ (一社)関西インテリアプランナー協会
Tel.06-6266-5735 <http://www.kipa.or.jp>

「つよい木造住宅のつくりかたⅡ」 9/9

木の性質を利用する軸組木造は、間取りと、構造軸組を切り離すことが出来ません。木造軸組の意外に知られていないルールを解説しながら、伏図の作成までを実習に重きを置いて設計のための伏図の書き方、軸組の考え方の講習を行います。

主催 木造トラス研究所・(株)合掌
日時 9月9日(土) 13:15~17:00(予定)
終了後、会場で懇親会をします。(希望者のみ)
会場 西宮市勤労会館
費用 4,000円(資料代金) 懇親会費別途1,000円
問合せ (株)合掌 Fax.0742-36-2929
E-mail truss@hera.eonet.ne.jp

川上村木匠塾20周年記念フォーラム 9/17

川上村木匠塾20周年を記念してフォーラムを開催します。

日時 9月17日(日) 12:30~15:30
会場 川上総合センター やまぶきホール
奈良県吉野郡川上村迫590-1
定員 340名 参加費 無料 申込 不要
問合せ 川上村地域振興課
Tel.074-6520-1111

Administration

行政からのお知らせ

大阪府就業支援事業 フェニックス 拡充訓練(住宅コース)

フェニックス拡充訓練では、建築士資格を持ちながら現在職場を離れている女性を対象に再就職支援を実施しています。建築基礎・リフォーム

Others

その他のお知らせ

大阪府住宅省エネルギー施工技術講習会 8/24・8/31・9/7・9/14・9/21・9/28・10/5・10/12・10/19・10/26 CPD4単位(予定)

国土交通省が新省エネ基準を2020年までにすべての新築住宅に適合を義務付けることに先がけて、施工技術者に省エネ技術の習得をしていただく講習会です。毎年多くの設計者・

私個人としてはこれからは、女性ももっと存在感を出して働ければいいなと思っています。それは男性同様にはなく、男性は男性の、女性は女性のそれぞれの利点を活かし、意見を出し合い、価値観を共有し、私たちが設計する空間が未来を拓くような建築を造っていくことが大切だと思います。

熱心な学ばれてる先輩方と共に学び、意見交換ができて、とても有意義に感じています。女性分科会である利点は、私自身の周りでも、まだまだ女性の建築士は男性に比べて圧倒的に少なく、経験豊富な女性建築士の方に設計の考え方や働き方まで相談でき、アドバイスをいただけることだと思います。

しかし、だからこそ日常業務とは別のところに学ぶ機会があることは重要で、同じ建築という仕事であっても、会社や事務所、業種、また、個々によって考え方の異なる部分があると思います。熱心に学ばれてる先輩方と共に学び、意見交換ができて、とても有意義に感じています。女性分科会である利点は、私自身の周りでも、まだまだ女性の建築士は男性に比べて圧倒的に少なく、経験豊富な女性建築士の方に設計の考え方や働き方まで相談でき、アドバイスをいただけることだと思います。

女性分科会三〇周年リレーエッセイ
若手女性建築士として女性分科会の活用
委員 己波智佳子

四年前に建築士会が開催する設計製図試験対策講習会を受講したことが、私が女性分科会に参加したきっかけです。当時、試験対策は勿論、実務での設計相談にもものっていただきとても印象に残っていました。その後、別の機会に女性分科会のメンバーの方に偶然お会いし、見学会や勉強会に誘っていただき活動を始めました。でも、まだまだ、実務が精一杯で時間が上手く取れず、時々しか参加出来ていないのが実情です。

Sponsorship

建築士会からのお知らせ

既存建築物耐震診断等の評価・評定

本会では、「建築物の耐震改修の促進に関する法律」の改正に伴い、建築構造の学識者や実務者で構成する「建築物耐震評価委員会」を組織し、平成26年1月より建築物耐震評価業務を実施しております。

不特定多数が利用する施設や沿道建築物など、申込者が検討した建築物の耐震診断及び耐震補強計画について、専門的観点のもとに審査・審議を行い、妥当であると認める申込案件に対して評価書を交付します。スピーディな審査を心掛けておりますのでどうぞ活用ください。

(業務内容)

- 耐震診断報告書の審査、評価
- 耐震補強計画書の審査、評価等

(対象建築物)

公共・民間等の建築種別、用途、規模、構造種別は問いません。また、他府県の建築物も対象としております。

(会員特典)

申込者又は診断等実施者が本会会員の場合は、評価手数料の10%割引があります。詳細は、本会ホームページをご覧ください。

平成29年度建築士定期講習

10/18、11/20、12/14
CPD各6単位

建築士法の規定により、建築士事務所に所属するすべての建築士は3年以内ごとに定期講習を受講しなければなりません。本年度は平成26年度に本講習を受講された方や、建築士試験に合格された方が対象となります。未受講者は懲戒処分の対象となりますので必ず受講してください。

日程・会場

- 10/18(水) 大阪国際会議場
定員200名 会場コード5C-53
- 11/20(月) 大阪府建築健康会館
定員90名 会場コード5C-04
- 12/14(木) 大阪府建築健康会館
定員90名 会場コード5C-54

時間 9:25～17:00

申込書必着日 10/18(水)講習:9/13(水)
11/20(月)講習:10/16(月)
12/14(木)講習:11/9(木)

※各回定員に達し次第、受付を終了します。
受講料 12,960円(消費税込)

申込書配布・受付場所

- 大阪府建築士会事務局
- 大阪府建築士事務所協会事務局

既存住宅状況調査技術者講習

新規講習9/6 CPD5単位
移行講習8/24 CPD3単位

平成28年2月に宅地建物取引業法が一部改正され、平成30年4月から既存住宅の売買時に「既存住宅状況調査」の説明が義務付けられる予定です。調査の実施は、登録機関の講習を修了した建築士のみ認められ、新たな建築士業務となります。なお、従来のインスペクター登録者は同調査を実施できませんが、その方々を対象に規定の講義の一部を免除した「移行講習」も開催します。ぜひこの機会に本講習を受講いただき、新たな建築士業務の資格を取得してください。

<新規講習>

日時 9月6日(水) 10:00～18:00

会場 大阪YMCA国際文化センター

定員 200名(定員に達し次第締切)

受講料 WEB申込21,060円

郵送申込21,600円

<移行講習>

日時 8月24日(木) 13:00～17:45

会場 たかつガーデン

定員 180名(定員に達し次第締切)

受講料 WEB申込16,740円

郵送申込17,280円

<申込方法>

日本建築士会連合会HPよりお申込みください。

<http://www.kenchikushikai.or.jp/>

監理技術者講習

9/13、11/9、1/18、2/15、3/7
CPD各6単位

本講習会は建設業法に基づく法定講習であり、建築に特化したテキストを使用し、経験豊富なベテラン技術者の講師による解説と映像で、実務に役立つ情報を提供いたします。なお、監理技術者以外の建築士や技術者の方も受講が可能です。日頃の工事監理業務に役立ちますので、ぜひご受講下さい。

日程 9/13(水)、11/9(木)、1/18(木)、
2/15(木)、3/7(水)

時間 8:55～17:00

会場 大阪府建築士会会議室

定員 各回30名(定員に達し次第締切)

受講料 WEB申込み9,500円

郵送申込み10,000円

申込 日本建築士会連合会ホームページよりお申込みください。

<http://www.kenchikushikai.or.jp/torikumi/news/2015-07-28-2.html>

大阪府知事指定講習

平成29年度既存木造住宅の耐震診断・改修講習会《限界耐力計算法》
8/4・1/30 CPD6単位

既存木造建築物の限界耐力計算法による耐震診断は、一般診断法が建物の強度を評価するのに対して、建物の強度だけでなく、減衰性能も評価することができる診断法です。この機会に限界耐力計算法の技術を修得され、今後の業務に活用されますようご案内いたします。

日程 ①8月4日(金) ②1月30日(火)

時間 9:30～16:00

会場 大阪府建築健康会館6階ホール

最寄駅 地下鉄「谷町四丁目」下車

定員 各120名(定員になり次第締切)

受講料 会員6,000円 会員外8,000円

テキスト代 4,000円(大阪府木造住宅の限界

耐力計算による耐震診断・耐震改修に関する簡易計算マニュアル)

大阪府知事指定講習

大阪工業大学梅田キャンパスにみる省CO₂の技術とデザイン
8/9 CPD3単位

大阪工業大学梅田キャンパス「OIT梅田タワー」は、さまざまな環境配慮により、国土交通省の住宅・建築物省CO₂先導事業に採択された都市型大学です。外装材一体型太陽光発電を組み込んだエコロジカルスキヤ空調熱源の最適運転制御など省エネ技術の導入をはじめ、災害発生時も事業・生活を継続し、地域防災と連携するよう計画されています。本講習会では設計担当者による解説と建物見学を行います。

日時 8月9日(水) 13:00～16:30

会場 大阪工業大学梅田キャンパス

内容 OIT梅田タワー建築概要、タワー型キャンパスにおける環境配慮施設とバッシュデザイン、OIT梅田タワー見学、質疑応答

定員 120名(定員に達し次第締切)

受講料 建築士会会員3,500円

後援団体会員4,500円

一般5,500円

平成29年度 大阪府ヘリテージマネージャー育成講座(全9日間)

8/26～1/20 CPD1日4または6単位(予定)

本講座は、文化庁の補助を受け、大阪府のさらなる歴史文化遺産を発見し、既に指定されている文化財建造物や登録文化財等の活用と保存を推進し、まちづくりに活かす能力を持った人材“ヘリテージマネージャー”を育成することを目的に行う講習会です。全9日間の講座(講義時間数は例年通り合計40単位)で歴史、修復技術、実測実習、保存活用などの基礎を学びます。

日程 ①8月26日 ②9月9日

③10月7日 ④10月21日

⑤11月4日 ⑥11月18日

⑦12月2日 ⑧12月16日

⑨平成30年1月20日(全9日間・土曜日)

時間 13:00～17:00(但し10月7日、11月18日は10:00～17:00)

場所 大阪倶楽部、中之島図書館 他

募集 25名(申込先着順)

受講料 本会会員25,000円

会員外30,000円

申込 本会ホームページからWEB申込してください。

※詳細は本会ホームページをご覧ください。

大阪府知事指定講習

平成29年度既存木造住宅の耐震診断・改修講習会《一般診断法講習会》
9/8・12/7・2/9 CPD5単位

本講習会修了者は、大阪府及び府内市町村の木造住宅耐震診断等の補助を受けることができる技術者として名簿に掲載します。(本講習会は、国土交通大臣登録講習ではありません。)

日程 ①9月8日(金) ②12月7日(木)

③平成30年2月9日(金)

時間 10:00～15:50

会場 大阪府建築健康会館6階ホール

最寄駅 地下鉄「谷町四丁目」下車

定員 各100名(定員になり次第締切)

受講料 会員5,000円 会員外9,000円

テキスト代 7,200円(2012年改訂版木造住宅の耐震診断と補強方法)

建築士会会員受講料全額補助

大阪府住宅省エネルギー設計者講習会
9/26・10/10・10/23・11/6・11/21・12/5
CPD6単位予定

国土交通省が新省エネ基準を2020年までにすべての新築住宅に適合を義務付けることに先がけて、設計者に木造住宅の省エネ技術の習得をしていただく講習会です。

日程 9/26・10/10・10/23・11/6・

11/21・12/5

時間 9:45～16:45(各回共)

会場 大阪府建築健康会館6階ホール

大阪府中央区泉町2-1-11

定員 各回120名

受講料 会員 本会が補助

会員外1,000円(テキスト代含)

※建築士会会員は受講料を本会が全額補助。

申込 専用のWEBからお申込みください。

HP [「省エネ講習会」](#) [検索](#)

詳細は今月号同封のチラシをご覧ください。

建築士の会 南河内

職人シリーズ 第一弾「たたみ」
9/14

シリーズとして職人を講師にお招きして知識向上を図ります。最近、和室のある住宅も少なくなってきていますが、今回は「たたみ」について歴史、材料、価格、特徴等の講義で材料見本の展示もお願いしており、たたみの特色を理解し建築業務に反映していただける内容です。

日時 9月14日(木) 18:30～20:30

会場 松原市ゆめニティプラザ 3階ホール

講師 大江俊幸(大江量店)

定員 30名(申込先着順)

参加費 会員1,000円 会員外1,500円

大阪市西地域

福島区まちあるき・朝日放送社屋と近代建築見学会
9/30 CPD3単位(予定)

近年、キタの中心地梅田の西隣の福島区は、ビジネス街や住居地として、また、アフター5を楽し

動静レポート

会長動静

- 6/26 香港政庁日本主席代表面談
- 6/27 大阪府収用委員会
- 6/29 国際委員会（連合会）
吹田市長面談
- 7/ 5 記者会見（連合会）
- 7/ 6 全日本不動産協会堀田本部長面談
- 7/ 7 在阪建築4団体会長会議
- 7/10 豊中市長面談
- 7/11 大阪府収用委員会
摂津市長面談
- 7/12 島本町長面談
- 7/14 運営委員会
- 7/15～16 全国女性建築士連絡協議会（連合会）
- 7/19 正副会長会議、理事会
- 7/21 八尾市長面談
大阪府マンション管理士会会長来会

※（連合会）：日本建築士会連合会



(左)後藤吹田市長



(右)浅利豊中市長



(左)山田島本町長



(右)森山摂津市長



左から守屋理事、濱田副会長、田中八尾市長、今西委員、岡本会長、杉原専務理事

運営委員会

府内43市町村首長訪問を開始

毎年実施している府内43市町村首長との面談を、6月29日の後藤吹田市長訪問を皮切りにスタートしました。

訪問では岡本会長をはじめとする本会役員や、地元で活動する会員とともに市町村首長と面談し、建築物の耐震性能向上、地震時の応急危険度判定、空家対策、まちづくり、ヘリテージ等地元行政政策と関りが深い本会の社会貢献活動の状況報告と意見交換を行って、連携強化を図ることが目的です。

今年度は特に、空家対策の一環としての既存住宅状況調査の実施拡大による住宅流通の活性化や、2020年までに実施される、住宅を含むすべての建築物の省エネ基準適合義務化に向けた本会の取り組みについて説明します。

運営委員会

平成29年の建築士学科試験を実施

本年度の建築士学科試験が全国で実施されました。二級は、7月2日に近畿大学において実施し、受験者数は全国では19,649名（昨年20,057名）、大阪では1,514名（昨年1,509名）でした。

一級及び木造は7月23日に大阪工業大学で実施し、一級の受験者数は全国で26,923名（昨年26,096名）、大阪で2,140名（昨年2,092名）、木造は全国で545名（昨年495名）大阪は88名（昨年68名）でした。

運営・社会貢献委員会

全日本不動産協会の新大阪府本部長を訪問

（公社）全日本不動産協会大阪府本部長に本年度就任された堀田健二本部長を、7月6日に本会役員が訪問しました。全日本不動産協会は、全国に33,068社（大阪府内に4,428社）の不動産業の会員を有する公益団体で、一般消費者の相談窓口を設けるなど、不動産取引の知識の普及に取り組まれています。

本会とは既存住宅状況調査や、宅建士に

対する講習などで相互協力を行い、関係を強化することで合意し、具体的な協力内容について、今後、双方の担当委員会の実務レベルで継続して協議を行うこととしました。



(左)堀田本部長

社会貢献委員会

応急危険度判定士の連絡訓練

本年度の応急危険度判定士の連絡訓練を国交省や全国の地方自治体が参加して、8月30日（水）に行うことが決まりました。

本会には605名の会員判定士が所属し、府からの判定士の派遣要請を受けて、会員判定士の参加の意思を確認するものです。連絡は携帯電話及びEメールにより行い、連絡網が有効に機能するかや、参加人数を把握し、有事の際の参考にします。

今回の訓練では、8時にマグニチュード7.0の地震が加賀・砺波平野で発生し、富山県・石川県において3日間の判定活動を行うとの想定です。会員判定士の方は連絡訓練にご協力をお願いします。

運営・社会貢献委員会

大阪府マンション管理士会会長が来会

（一社）大阪府マンション管理士会の長尾隆弘会長が、これからの活動連携を図るために7月21日に来会されました。大阪府マンション管理士会は、府内の関連諸団体を統合する形で、平成27年8月に設立総会を開催し、以前に存在していた旧会の清算を待って、平成28年4月に法人登記されました。

今後、本会のマンション維持管理支援分科会と連携して、マンションの維持管理に関するマニュアル作りや、管理セミナーの共催、講師の相互派遣などの協力を行うことを確認しました。

「山本能楽堂」見学会一国の登録有形文化財改修解説と能鑑賞の基本講座一

普段見られない、能舞台の表と裏を「まるごと公開」+「バックステージ探検ツアー」

日程：平成29年5月20日（土） 会場：公益財団法人山本能楽堂 参加者：53名 分田よしこ（ヘリテージ部会委員）



山本能楽堂は、昭和2年、大阪市中央区徳井町に観世流能楽師山本博之氏が創設し、今年90周年を迎えられました。

木造3階建ての建物は、戦争により焼失したものの昭和25年に再建、平成18年には登録有形文化財となり、現存する大阪で最古の木造能楽堂となっています。この度、文化庁の補助を受け、60年ぶりに大掛かりな3年間の改修工事が行われました。

今回の見学会は、能鑑賞の基本を学び、文化財改修の解説を聴き、建物内部のまるごとを見学・体験する内容でした。まず能楽師より能の基本のお話と能面や舞台、衣装の解説をしていただき、謡（うたい）の手ほどきを受けました。“能”に初めて触れた方も多く、能をどう楽しむのか等、日本伝統芸能のひとつをあらためて知る機会となりました。それに引き続き、文化財改修及び耐震改修について安井建築設計事務所のご担当者から説

明をしていただき、その後、能舞台上を体験し、その裏方及び館内の見学をさせていただきました。

こちらの能楽堂では近年、能楽中心の活動から、上方伝統芸能全般の活動へと発展されており、それに伴って建物の老朽化対策と利用客の快適性向上が必要になり、耐震補強と観劇空間の改修をされました。改修後、教育事業、地域活性化事業、観光振興や国際交流の場として「開かれた能楽堂」となっています。歴史の陰翳が刻まれた能舞台も保存し、客席は余分なものを全て削ぎ落として、再建当時の姿に近づけたようで、「本漆喰と白木」により爽やかさと親しみのある雰囲気へ戻すことで、能楽本来の「象徴性」を映し出し、研ぎ澄まされた空気の中で伝統芸能を楽しむ場へと蘇えらせたとのこと。舞台照明として全国で初めて導入されたフルカラーLED照明による「能楽の新しい見え方」へも挑戦されて

います。新設された資料室では、能の台本や小道具に触れることができ、2階ライブラリーでは、屋根裏トラスの「見える化」により、ミニ公演や研修の開催が可能となり、伝統芸能の保存を通して地域コミュニティの活用が広がったそうです。かつて「大大阪」といわれた時代、能楽堂は「社交場」として機能していたそうですが、その歴史を踏まえ、大人から子供まで楽しめる「現代の社交場」として、新たな芸術交流が創造される場となっているようです。



既存住宅状況調査技術者講習会（移行講習）

日程：平成29年6月23日（金） 会場：たかつガーデン8階 参加者：114名



長谷川文三（住宅仲間分科会委員）

既存住宅状況調査技術者講習会（移行講習）を受講しました。

講義1では、現時点で混在している2つ、既存住宅現況調査技術者と既存住宅状況調査技術者の違いについて、改正宅建業法（重要事項説明）に前者は非対応、後者は対応と解説頂き、前者も後者も『既存住宅インスペクション・ガイドライン』の既存住宅に係る一次的なインスペクション＝既存住宅現況調査と再認識しました。また、後者はこの講習を修了した建築士である調査技術者が実施することを解説頂きました。講師の先生のお陰で、その違いに気付き概念の全体像が見えました。

講義2では、調査各論である木造・鉄骨造・鉄筋コンクリート造等については、

調査対象部位ごとにチェックリストを活用し、調査報告書をスムーズに作成できるよう解説頂きました。その際の注意点として、ガイドラインには、一次インスペクション＝現況検査、二次インスペクション＝診断、性能向上インスペクションと3段階あるが、この調査は一次インスペクション＝現況検査であり、現況検査報告であることから、二次、性能向上の調査は含んでおらず、オプション扱いとの説明があり、再認識しました。

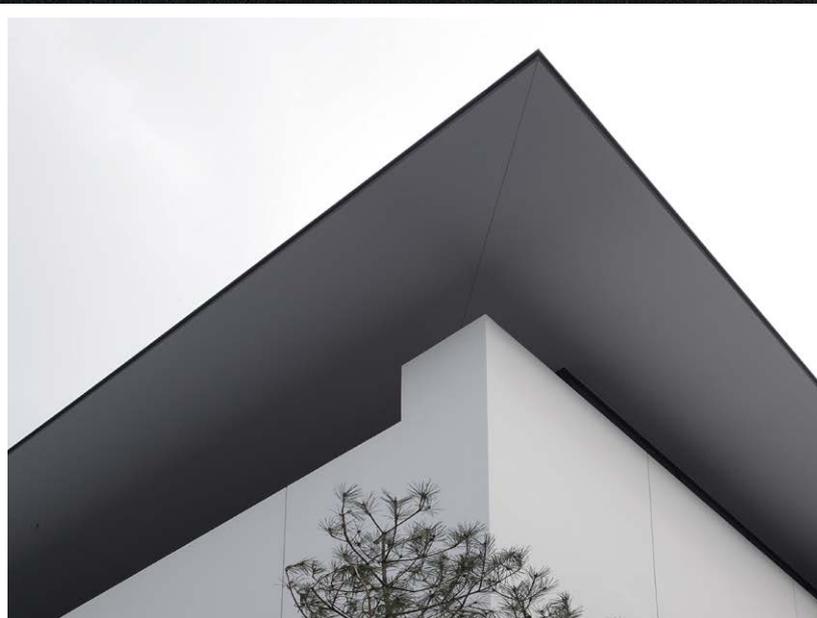
講義1、2を通した中で、既存住宅売買瑕疵担保責任保険の概要と住宅の瑕疵の事例も解説頂きました。

考査については、講師のわかり易い解説のお陰で容易に解答することができました。移行講習を受講し、来年から施行される

この調査について準備が早めに出来ます。今後も時代の変化に対応した講習会を是非ともお願い致します。業務発展のためにも、参加させて頂きたいと思っております。有難う御座いました。



クラックスケールによるひび割れの計測



宝酒造創業の地に創立90周年を記念して計画された歴史記念館。グループ企業の精神の象徴として位置づけられ、企業史を通じ経営哲学を学ぶ施設として世界から社員が訪れる。企業を表象する「宝（方）形」の屋根を冠した漆喰調の「白壁」は、四方を正面とする表裏のない佇まいとし、赤松の庭と共に伏見の酒蔵を思わせる具象性と未来に開かれた余白のような抽象性を併せ持つ。門をくぐると、庇が身体的なスケール感覚を与え、歩みの向きを変え、空間の大小、明暗の対比を感じさせながら展示の世界へと誘う。「歴史—現代—未来」をつなぎ、「町並—建築—展示」が融合した学びの場を創造した。

所在地：京都市伏見区
用途：研修所
竣工：2017.2
構造規模：SRC・S・RC造
3階建
敷地面積：1,601㎡
建築面積：1,049㎡
延床面積：2,795㎡
写真：古川泰造



80年代後半に建てられたメーカー住宅のリノベーションである。改修の対象はアプローチ廻りと1階となった。ご主人の要望により車を眺めながら生活が出来るガレージハウスとして設計をした。改修であるための制限と普段生活される部屋との関係性を配慮し、玄関から車の一部を眺めながら室内に入っていく動線とした。元々洋風デザインであったが和風な雰囲気を取り入れたいとの要望もあり、玄関も引戸とし、素材もナチュラルな木材を現しとした一体的な空間となった。基本は外観を変えていないが、アプローチ廻りは植栽も含め印象は大きく変わっている。また、1階に関しては必要な個所に耐震補強を行い安心できる住宅を目指した。

所在地：大阪府松原市
 用途：専用住宅/改修
 竣工：2016.10
 構造規模：木造2階建
 敷地面積：140.00㎡
 建築面積：79.68㎡
 延床面積：130.61㎡
 内改修77.61㎡
 写真：網巻 豊

第10回 建築人賞

主催：公益社団法人 大阪府建築士会

公益社団法人大阪府建築士会では
本誌「建築人」の Gallery に掲載された建築作品を対象に
社会性、芸術性、時代性を考慮して、顕彰、公表することにより
建築技術の進展、建築文化の向上に資することを目的として
建築人賞を実施しています。

■ 審査委員長 古谷 誠章（早稲田大学教授）



1955年 東京都生まれ
1978年 早稲田大学理工学部建築学科卒
1980年 早稲田大学大学院修了
1986～1987年 文化庁芸術家在外研修員として
マリオ・ボッタ事務所在籍
1994年～ 八木佐千子とスタジオナスカ（現NASCA）
共同設立
1994年～ 早稲田大学理工学部助教授
1997年～ 早稲田大学教授
本年度より建築人審査委員長

■ 表彰（設計者に対して）

建築人賞（賞状と記念盾）

建築人奨励賞（賞状）

※建築主・施工者には感謝状授与

■ 第10回 対象作品

「建築人」2017年1月号から2017年12月号まで
Gallery に掲載された建築作品

※建築種別、建築地を問わない。但し、竣工検査済証を受けたもの

■ 審査方法（2段階審査・予定）

一次審査 建築人誌面、公開プレゼンテーションにより選定

二次審査 現地確認により選定

■ 受賞発表

建築人2018年7月号誌面（予定）

■ 問い合わせ

公益社団法人大阪府建築士会「建築人賞」係
TEL 06-6947-1961 FAX 06-6943-7103



建築人賞 記念盾 「未来へ！」

ガラスアーティスト 三浦啓子作

『建築人』 Gallery 掲載作品 募集中 2017

会報誌「建築人」では、Gallery に掲載する作品を
募集しています。

【掲載料】

カラー 2ページ 20万円

カラー 1ページ 10万円

モノクロ 2ページ 10万円

モノクロ 1ページ 5万円

※モノクロページは住宅に限ります。

詳しくは、公益社団法人大阪府建築士会「建築人」
Gallery 建築作品掲載係まで。

昨年9月から近鉄南大阪線・吉野線で「青の交響曲（シンフォニー）」が運行を開始しました。大阪阿部野橋と吉野を結ぶ観光特急列車ですが、リーズナブルにゆったりと上質な大人旅を味わえると評判です。その非日常な空間を演出するために建築的なデザインが役買っています。今回はこの車両設計を担った全日本コンサルタント（株）木村昭一さんにそのデザインの裏側をご紹介します。

近鉄 観光特急「青の交響曲（シンフォニー）」デザイン 従来の車両設計であることは意識せず、建築デザインを融合させて

全日本コンサルタント株式会社 木村 昭一

平成1年、近鉄に入社。鉄道駅舎等の大規模改良工事の担当を経て、平成17年～平成20年、京都駅リニューアル計画を企画段階から担当。平成21年～平成22年10月には、近鉄創業100周年と開館50周年を記念した大和文華館（設計：吉田五十八）リニューアル工事（平成24年度「BELLCA 賞受賞」）を基本設計から担当し、平成25年2月～全日本コンサルタント株式会社に出向。

近畿日本鉄道株式会社の南大阪線・吉野線は、日本一の超高層ビル「あべのハルカス」が立地する大阪阿部野橋と、桜の名所吉野山の玄関口である吉野を結び、沿線には日本遺産に指定された「明日香村」、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」として登録された「金峯山寺」をはじめとする由緒ある神社仏閣、美しい自然景観を誇る「みたらい溪谷・洞川温泉」やワイナリー・地酒蔵元・フルーツの名産品など、様々な観光資源にあふれている。そこで、この沿線に注目を集め観光振興、沿線活性化の「起爆剤」とするため、従来から使用されている通勤車を改造し「ゆったりとした時間を楽しむ、上質な大人旅」をコンセプトとする観光特急「青の交響曲（シンフォニー）」の運行を開始した。

■観光特急開発の経緯と体制

近鉄では観光に特化した列車として、平成二五年三月からの観光特急「しまかぜ」、観光列車「つどい」など様々なタイプの列車を運行し、鉄道の旅の魅力を広くPRしているが、南大阪線・吉野線にも本格的な観光列車を投入しようという計画が、平成二五年夏ごろにスタートした。

当初は、特急車を改造する案、観光列車「つどい」を発展させた案などがあったが、マーケット調査などを幾度も行い、吉野エリアの特性から「歴史文化と自然」に対する人気が高く、子供連れの来訪者は少なく、中高年齢層の夫婦・友人との来訪傾向が多いことがわかり、大人同士でゆったり楽しむ観光列車をめざし企画・開発を進めることとなった。プロジェクトメンバーは、近鉄の企画

統括部観光・宣伝部および技術管理部（車両担当）を中心に企画、開発が行われた。車両デザインについては、「従来の車両の常識にとらわれずに設計しよう」という意向のもとで、建築的なテイストを取り入れるため、近鉄グループの建設コンサルタント会社で駅などの設計を手掛けている当社が選定され、I M O デザインの飯田英二氏によりデザイン監修を行った。

■列車デザイン

企画・デザインメンバーは、最初に大阪阿部野橋の「あべのハルカス」という最新の施設から沿線をたどり、古代ロマンあふれる飛鳥・吉野エリアへ向かい、現代から過去へのタイムトリップ的な旅を満喫するために何が必要なのかの議論を重ねるとともに、マーケット調査の内容も考慮し、列車のコンセプトを「ゆったりとした時間を楽しむ、上質な大人旅」とした。

内外装デザインは、これまでの列車にない、非日常的な時間を体感していただく空間を演出している。内装イメージは、ヨーロッパにあるような重厚でクラシカルな装飾を壁や天井に施している。車両外装は、近鉄に今までに無く、沿線風景に調和できるカラーとし、ブルーメタリックやゴールドラインによる艶やかな装飾を行った。

■鉄道車両設計と建築設計との違い

近鉄には今までに観光列車などの改修設計も行った、車両設計を専門に行っている部署があり、本プロジェクトも我々の建築デザインを、鉄道車両用に対応出来るよう、共同で設計を進めていく必要

があった。車両設計は簡単にいうと施工図そのものであり、製造レベルで対応出来るよう、仕上げ、下地、ビス一本まで書き上げる。一方、建築では基本設計でデザインを決め、詳細設計を行い、施工図へと展開して行く。このような、設計スタイルの違いからプロジェクト当初の設計会議では、基本デザインの段階で、取付方法や下地の位置などパーツを一つ一つ決め、お互いの常識がぶつかり、白熱した緊張感のある会議になり、気づけば十二時間も会議をしていたこともあった。

また、材料の選定においても、鉄道車両では、高い不燃性能が求められる一方で、通常建材として認定されているものでも、鉄道車両への実績がない限り、材料の組み合わせ毎に、燃焼試験を行う必要があった。



実車を使った車両検証



ラウンジ車両（内装）



クレーンで吊り上げられる車両本体

■常識をやぶる？

建築デザインとして指名されている以上、鉄道車両と建築を融合させるため、I MO デザインの飯田氏と建築的なデザインにこだわった。

鉄道車両という未知の分野での空間づくりには度々、思わぬ壁が立ちはだかった。そんな時、プロジェクトリーダー的存在で、数々の鉄道車両設計に携わってこられた、近鉄企画統括部技術管理部で車両担当の奥山氏のアドバイスによりイメージする空間を自由な発想で設計ができたと考えられる。建築の分野では、通常に設計する上であまり解体など、考慮せず設計を行うが、鉄道車両設計においては、非常時の対応や主要部品の交換・点検を定期的に行う必要があるため、車体部材のほとんど取外し可能な構造にする必要がある。ビスなどで部材や仕上げの取付は可能であるが、徹底的に意匠にこだわり、可能な限り隠しビスや取付構造を考慮し、設計を行っている。

■車両設計の可能性が広がった

観光列車は開放的な雰囲気や景色を楽しむというのが一般的だが、今回は、その固定観念に縛られず、建物を設計するアプローチで進めたので、今までにないものができたと考えている。

例えばラウンジ車の窓は、観光列車にありがちな、大きな窓を敢えて採用せず、横長のスリット状デザインを行った。当初クローズされた空間に様々な意見もあったが、実際の車両でモックアップを行い、ソファ座面からの窓の高さや快適な開口寸法を割り出し関係者の理解を得た。これによりラウンジ車内は列車に

乗っているのを忘れさすような空間演出が行えたと考ええる。

また通常、鉄道車両では使わない建築素材やデザインの提案も行った。

全体的に高級感を出すためラウンジ車両や客車には、空間密度を上げるために壁面や天井にクラシカルな装飾アイテムをふんだんに取り入れ、床には伝統織物・丹後緞通を使用している。壁面や天井には間接照明も配置し、空間と調和するよう、光の加減にもこだわっている。小型のシャンデリアなどの照明器具には、鉄道車両という特性の揺れがおきても音の出ないように工夫している。また、客席の椅子にもこだわり、地元の竹材を一部使用し、和の素材を使いながら、洋のテイストにアレンジしている。ライブラリースペースやラウンジゲートなどには、ロートアイアンを使用し優雅さを演出している。

■それぞれの思いが……

建築設計の仕事はテーマやイメージなど大枠から始まって細微に落とし込んでいく。車両設計の仕事は製作作業が細かく分業制が確立されており、パーツから入るので進め方が真逆。

これまでさまざまな観光列車を見て、プロジェクト設計に対する姿勢がつかめた。ただ走るだけの鉄道車両なら我々には必要ない。建築設計のプロとして他の鉄道車両にはない付加価値をつけることにより、異なる分野の技術者同士でも「いいものを創り上げる」という魂により、このプロジェクトが成功したと感じている。



近鉄 和田林社長と設計メンバー



試運転にて（吉野駅）

理事会報告

文責 本会事務局

日時 七月十九日(水) 十六時〜十八時

場所 本会会議室

出席 理事三名 監事二名

(1) 女性分科会三〇周年記念事業として女性分科会のこれまでの活動を総括し、将来に繋げる企画として「建築女子がきずく未来」をテーマにグループトークを実施します。建築界の女性が多様な職域の立場の意見を交換し、女性建築士の役割を明確にすることが目的で、友好四団体も共催で参画を行います。講演者に伊藤明子氏(国交省住宅局長)をお迎えします。

(2) 日本建築士会連合会の三井所会長が住宅・都市イノベーション総合展のアドバライザー委員を務められていることから、本会も関西展に出展(出展料は無料)協力します。本会活動の周知等を図るため、入会促進、省エネ、耐震、インスペクション、建築受賞作品等を紹介する出展構成が情報委員会から提案され、担当委員会がパネル制作等に協力することとしました。

(3) 不動産関係三団体と既存住宅状況調査の推進等の提携について協議しました。

① 宅地建物取引業協会(七/五)
調査業務に対する建築士の派遣、宅建士向け研修の協力、瑕疵保険会社及び金融機関との調整等の打合せを行いました。

② 全日本不動産協会(七/六)
調査業務や研修講師の派遣提携等について、大阪本部長他と面談しました。

③ 大阪府不動産鑑定士協会(七/十九)
不動産の状況調査や鑑定業務の協力等について基本合意書を交わす予定です。

建築相談室から十六

現地相談のスタンス

文 橋本頼幸

建築相談には、平日午後の電話相談の他に、有料の面接相談(三〇分五四〇〇円)、現地相談(半日三三〇〇円)があります。現地相談では、原則として書面で記録を残すことはいらないルールになっています。ところが、それを期待されることもしばしばあり、はっきりとは言わないものの紛争相手との交渉に使うことを目的にしている事が見え隠れすることもあります。書面を残すことの重要性

電話相談において「トラブルになっている業者と打合せをするときに気をつけること」や「契約前の話と打合せで違うことを言われた場合」などを問われたときにするアドバイスとして「相手に書面で提出を求めてください」「記録を作っておいてください」などとよく言います。実際に相談記録にもそのようなアドバイスをよく見かけます。記録に残すことは打合せの内容や決まったことを互いに確認する有効な手段です。正式な議事録のようにお互いが署名捺印するまでできれば間違いありませんが、そこまでできなかったとしても、相手に記録を作ってもらい、自分で記録を作った相手に送るなども有効です。自分のメモであっても残しておくことは大切です。

記録の一人歩きはさせない

現地相談の案内の際は、必ず「記録は作らない」との説明を行い、さらに確認のために現地相談担当者が電話で確認をするという二段階の同意を得た上でおこなっています。ところが、現地相談申込時には了解していた相談者が、後日書面での報告を求められることもあるようです。本会の現地相談や面接相談は、電話

相談の延長であり、本格的な相談業務とは異なります。従って、建築士会の現地相談範囲では書面を出さないことになっています。書面が一人歩きして、場合によっては紛争相手との交渉や訴訟に使われることなどを避けるためです。それでも書面を求められた場合

前述の通り、本会の相談範囲では記録や書面を提出することはありませんが、それでも書面を求められることがあります。その場合は、現地相談を担当した建築士個人又は所属事務所で対応(別費用)するか、業務として対応できる建築士の紹介をすることになっていきます。書面を提出すると言うことは、書面に書いたことに対して責任を負わなければなりません。本会の現地相談は有料とはいえ、その責任を負うような費用や体制にはなっていません。書面の重要性をわかっているからこそ

電話相談では、書面を受け取ってくださいと言いますし、現地相談では、依頼者に書面を発行することに慎重になります。それは書面の重要性をわかっているからこそその対応です。また、相談者によっては、相談費用を紛争の相手方に負担させることを考えている場合があります。さらに、書面の作成費用も含めて費用負担を求めたり、場合によっては、既に相手方に負担させることが決まっている場合もあります。

相談費用の受け取り

現地相談の依頼者は、建築主や所有者(消費者側)がほとんどですが、工務店などの住宅供給者、時には弁護士からの依頼もあります。依頼者が誰であっても、費用を負担する人がどの立場であっても、建築士としての技術的見解は変わらないというのが大前提です。ただし、誰が負担するにしても、相談費用は原則として相談に行った日に現金で受け取ります。

大阪ホンマもん解説

写真 田籠哲也 文 牧野隆義

今回取り上げるレトロビルは、大阪市中心部の土佐堀川沿いから少しだけ入った所にある「旧菅澤眼科医院」だ。

菅澤眼科は明治二七年(一八九四年)に堺で開院した歴史ある医院で、後にこの土佐堀へ移ってきた。建物は昭和四年(一九二九年)に建てられたもので、設計及び施工を清水組(現・清水建設)が担った。規模は塔屋付き地上三階建てで、構造は鉄筋コンクリート造とされた。

建物の角を緩やかなアーチ型とし、そこに設けたエントランスが優しい表情を醸し出している。外壁にはタイルを用い、柱頭飾りなどからも昭和初期に流行したアーチ・デコの特徴が感じられる。縦長の窓を密に連続させたファザードは、決して大きくはない建物に心地よいリズムを感じさせることに寄与している。

今は眼科は閉院し、テナントビルとして利用されており、登録有形文化財に指定されている。エントランス脇の色ガラスが、これからもこのビルを鮮やかに照らし続ける。

建築人 8

2017

監修	公益社団法人大阪府建築士会		
	建築情報委員会		
編集	建築情報委員会『建築人』編集部		
委員長	飯田英二		
編集人代表	荒木公樹		
編集人	河合哲夫	北 聖志	
	黒川祐樹	中江 哲	
	橋本頼幸	丸子勇人	
	牧野隆義		
事務局	山本茂樹	母倉政美	
印刷	中和印刷紙器株式会社		



cye

cye (サイ)はインダストリアルな要素をシンプルな機能とデザインに再編集したレトロでモダンな水栓シリーズです
www.san-ei-web.co.jp 株式会社 三栄水栓製作所

SANEI



ダイキン工業 テクノロジー・イノベーションセンター 日建設計・NTTファシリティーズ

ダイキン工業の国内3拠点に分散していた研究・開発技術者700名を集約、部門の壁を越えた真の協創活動のプラットフォームとして、社内外の「知」を結集する技術開発拠点。イノベーションのためのワークプレイスの核となるオフィスフロアは、平面60m角2層におさめ、中央部分を中間階とし、協創の中心「ワイガヤステージ」とした。すべてのデスクスペースはここから30m以内で連続しており、いつでも侃侃諤諤の議論に加わることとなる。またタッチダウンスペースや個人的な集中作業が可能なブースを効果的に配置し、ワーカーは場を選択することができるようにした。オフィスフロアの下階に位置し、吹抜けを介して連続する「知の森」は、社外との協創イノベーションを促進する。最上階の「フューチャーラボ」では、外部からの研究者を招く「フェロー室」と、これに囲まれたオープンスペースで構成され、雄大な淀川の流れを望む新たな産官学連携の場となる。これらの空間はエントランスよりオフィスまで階段や吹き抜けを介して、光・空気と共に人の動線・視線をシームレスにつなぎ、アクティビティの関係性を生み出すきっかけとなる。3万㎡に及ぶ巨大な実験エリアは、オフィスエリアと1棟とし各階で直結。高い階高、広い無柱空間、ゆとりあるシャフトと設備バルコニーにより高度なフレキシビリティを確保した。また随所にダイキンの技術を活かした圧倒的な省エネルギーを実践。ZEBへの取り組みとして消費エネルギーを70%削減しつつ、ワークプレイスとしての快適性と両立させた。CASBEE(第三者認証)Sランク取得、LEED(新築)プラチナ認証取得。

撮影：清水向山建築写真事務所
第61回大阪建築コンクール大阪府知事賞特別賞受賞作品

■プロフィール

見玉 謙 (こだま けん)
日建設計
1963年 兵庫県生まれ
1986年 京都大学工学部建築学科卒業
1988年 京都大学大学院工学研究科建築学専攻修了
1988年 日建設計 入社
現在 執行役員・設計部門代表

■建物データ

建築主：ダイキン工業株式会社
所在地：大阪府摂津市西一津屋1-1
(ダイキン工業淀川製作所内)
用途：研究所・事務所
設計：[建築・設備]株式会社日建設計
[構造]株式会社NTTファシリティーズ
施工：株式会社竹中工務店
建築面積：11,839.01㎡
延床面積：47,911.86㎡
構造：S造、一部SRC造

